

初期リウマチの患者さんを治療して

本橋 靖子

〔患者〕 Sさん 女性 45歳

〔初診日〕 2011年12月7日

〔主訴〕 腰痛・初期のリウマチ（医師に遺伝性と言われる）

〔現病歴〕 数日前より指を強く曲げたり、ドアをノックすると普通のノックの10倍痛い。

〔既往歴〕 耳下腺症、顎下腺症、遺伝性低眼圧性緑内障、甲状腺機能低下症

〔所見〕 脉状：滑・弦・左寸口が一番大きいリウマチの脈

腹症：腎虚（下腹に力がない）

火穴：（－）

処置 1回目

扁桃処置 10分程度留鍼

両丘墟・四瀆に施灸各7壮

陽陵泉に施灸15壮

帯脈に雀啄

丘墟・四瀆・陽陵泉に灸点をおろす

2回目 脉状：弦

腹症：（－）

扁桃処置 10分程度留鍼

丘墟・四瀆に10分程度留鍼、施灸各7壮

陽陵泉に施灸15壮

左小指第一関節及び右示指第一関節（手の甲、関節中央）に施灸各5壮

帯脈

3回目 （39日目）

脉状：弦で左の脈の方が弱くなっている

腹症：（－）

灸をすえると手は楽、しかし子供を抱いたり、手指が引っ張られると痛い。

扁桃処置、丘墟・四瀆に施灸各7壮、陽陵泉に15壮

左小指・右示指に施灸各5壮

帯脈

4 回目

脉状：滑・弦

腹症：(一)

扁桃処置

丘墟・四瀆に施灸各 7 壮、陽陵泉に 15 壮

帯脉

5 回目 (108 日目)

脉状：滑・弦

腹症：臍下動悸

ペインスケールを 0 から 10 とし、最初の痛みを 10 とすると今日現在の痛みは 10 分の 3~4。

扁桃処置、丘墟・四瀆に施灸各 7 壮、陽陵泉に 15 壮

帯脉

6 回目 (122 日目)

脉状：弦

腹症：臍動悸

扁桃処置、丘墟・四瀆に施灸各 7 壮、陽陵泉に 15 壮

帯脉

痛みは随分楽になったと言う。ペインスケール 10 分の 2~3。

7 回目

脉状：数・滑・弦 のどが痛い

腹症：(一)

扁桃処置、丘墟・四瀆に施灸各 7 壮、陽陵泉に 15 壮

帯脉

飛蚊症がある為、目の周囲を治療

8 回目

脉状：緊

腹症：臍動悸

施灸継続約 4 ヶ月目。眼科検診に行き、眼圧が 15 から 12 に下がっていたのでびっくりしたと言う。

扁桃処置、丘墟・四瀆に施灸各 7 壮、陽陵泉に 15 壮

帯脉

最終の治療から9ヶ月を経過した現在、患者に確認した所、左手小指の痛みは消失。
示指に関しては時々違和感がある程度である。
眼圧は12を維持している。

[考察]

2008年5月に腰痛で私の治療を受けて下さり、症状が緩解した。今回、初期リウマチと診断され、病院から服薬治療を勧められ、母親からも病院の治療を受ける様、強く勧められた、しかし、その前にどうしても鍼灸治療を受けたいと願って、当院にご連絡をくださった。

リウマチは自己免疫異常から発症する為、扁桃処置で免疫の強化を図った。
また、筋緊張に伴う神経機能障害や血行障害を、錐体路系を介して改善する為
丘墟・上四瀆に対して施灸を続けた。
さらに、全身の筋肉を遠隔的に緩める為に帯脈を使用した。

患者は温厚で素直な性格であり、『リウマチは初期であれば治る』という言葉に信頼をおいて下さり、ご家族の理解と協力もあって、真面目に治療を続けて頂いた事が好転に結び付いたと思う。

緑内障の治療は全く行っていないが、2008年5月に18と19であった眼圧が、3年半の間に15に下がり、今回また12に下がっていたのは、扁桃処置によって自律神経のバランスが安定した事と、緑内障の治療点の一つである、胆経の陽輔と同系である陽陵泉への多壯灸が、眼圧にも良い影響を与えたのではないかと思う。